

磐城時報

編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
一部金貳圓一月金五圓
廣告料二行五字金五圓
日刊 (日曜、祭日) 休刊

野崎擁立圖に當る

有給村長制條例改正案可決

(屢報)紛亂の極に達した玉川村長制の村條例改正案は、
村が暫定的に同村出身の縣議野崎と可決、直ちに縣に認可を
請願職を擁立せんとするの計申請したが、認可あり次第野崎
劃は見事圖に當り昇格を視つた氏の玉川村長就任は確定的のも
西村助役派を始め駒木根派の推となつた。

局員昇任發表

平郵便局では今日局員の異動
を發表した。
任主事 渡邊 善祐
任兼主事 書記 長橋 豊喜
任書記 書記 高橋 兼七
任書記 書記 松浦 寅次郎

大浦少年消防 大浦消防會式を舉行

大浦消防會式は今日午後一時
一、九時村會召集の結果有
から同村小學校に於て舉行した

江名、豊間、中の作

三港を特別指定か

農林省橋技師今日來郡調査

農林省水産局橋技師は今日一日、
如來郡江名、中の作、豊間の三
漁港を精細調査、殊にその漁港
改修の工事全般に亘つて精密な
調査を遂げたが、仄聞するに、
前記三漁港を農林省の指定港と
らしむる爲めであるらしく此の
調査結果は關係者から非常な注
意を拂はれてゐる。

飛塚氏

愛知に榮轉

小名濱町縣水産試験場長飛塚高
次氏は愛知縣水産課長に榮轉と
内定した、同氏はさる大正十一
年二月、愛媛縣技師から轉任以來

平音頭と小唄

西條八十、野口雨情氏等と共に
全國各地の小唄を詩して知ら
れてゐる詩人内村俊一氏、婦人
と藝術社長)は、今般本縣原の町

盛り返へした風邪

飯野全村に猖獗

昨今漸く下火になつた當地方の
流行はまたまた猛威を盛り返し
飯野村の如き全村一帯毎に罹
病者を出し、同村小學校六百八
十名の生徒中患者三百余名臥床
欠席の兒童六十余名に達し、殊
に同村補習夜學生の大半は罹病
してゐる爲め欠席多し授業不可
にしてゐる爲め欠席多し授業不可
にしてゐる爲め欠席多し授業不可

飯野村の如き全村一帯毎に罹
病者を出し、同村小學校六百八
十名の生徒中患者三百余名臥床
欠席の兒童六十余名に達し、殊
に同村補習夜學生の大半は罹病
してゐる爲め欠席多し授業不可
にしてゐる爲め欠席多し授業不可

飯野村の如き全村一帯毎に罹
病者を出し、同村小學校六百八
十名の生徒中患者三百余名臥床
欠席の兒童六十余名に達し、殊
に同村補習夜學生の大半は罹病
してゐる爲め欠席多し授業不可
にしてゐる爲め欠席多し授業不可

飯野村の如き全村一帯毎に罹
病者を出し、同村小學校六百八
十名の生徒中患者三百余名臥床
欠席の兒童六十余名に達し、殊
に同村補習夜學生の大半は罹病
してゐる爲め欠席多し授業不可
にしてゐる爲め欠席多し授業不可

珍らしい詐欺

三春まで只乗り
二十九日午前六時頃浪江町
字深町トラツク營業松本信夫方
に茶のオーバにコール天のズボ
を穿つた三十歳前後の一見木
炭商風の男が訪れ
自分は田村郡三春町の木炭問
屋であるが昨日相馬郡小高町
に木炭百俵の賣込契約をした
から三春町から運搬して貰ひ
たい。

不良連鎖み上る

平署新撰組の疾風の活動

屠蘇氣分全く消えて今舊歲末の強請り金「五圓を出せ」と「暴れて
一脈慌しさを孕んだ活氣に包まざるのを検査されたが、新撰組
れてゐる夜の平町に昨今硬軟不
の疾風の活動に町内の不良連は
良の横行が頻りなので料亭、飲
縮み上つて昨夜は餘り姿を現は
食店、カフェー街の與太者は遊
客に喧嘩を吹きかけ常習の「た
かり」手段で金品まで強要する
始末に平署當局の取締要望の聲
が漸次高まつてゐたが、平署特
別警察隊新撰組は愈々堪りかね
て活動開始一齊に不良狩りを決
行する事になり昨夜來全町に出
動警戒中だが、此の新撰組活動
の第一の槍だまに上つたのは平
町町間町居住無職小山雅一(三
報により關内氏を始め四倉町長
四)黒猫で飲酒した揚句主人を
新妻盛氏、前代議士木村清治氏
名家、本縣縣會議員として聲望

新妻伊之助翁急逝

平町議關内正一氏の嚴父

平町町會議員關内正一氏の嚴父
の他近親者馳せ付け看護に努
病勢重なり今日一日
病勢重なり今日一日
病勢重なり今日一日

石城福内會

歳男申込

石城郡福内會の節分豆まきは
愈々二月三日縣社子會神社に
於いて執行されるが、本日まで
の歳男申込は左の如くである。

諸橋久太郎、山崎道之助、新
妻慎治、高萩高三郎、市原守
馬、小野麟太郎、倉谷ふみ子
佐藤作平、松本榮一、酒井清
佐藤熊太郎、平野鐵之助、酒
井徳實、早川重治

會誌發刊

中堅農民同窓會
同窓會では郡下の理想郷化實現
の援助機關として會誌「理想郷」
の發刊を計劃準備成つたので此
の程第一巻創刊號を出版したが
郡農會長諸橋久太郎、内務部長
赤土正強、學務部長末原貫一郎
其の他縣内諸名士の執筆あり見
事な出来榮えである。

同窓會では郡下の理想郷化實現
の援助機關として會誌「理想郷」
の發刊を計劃準備成つたので此
の程第一巻創刊號を出版したが
郡農會長諸橋久太郎、内務部長
赤土正強、學務部長末原貫一郎
其の他縣内諸名士の執筆あり見
事な出来榮えである。

東和 和洋家具百貨
大陳列大安賣會
二月十五日迄日延べ

平魚市場跡 丸和商會出張部

ラヂオ組立出来る方
至急募集、委細面談

大勝ラヂオ店
平町停車場通

支那そば

なべ焼

しるこ。ぞうに……(各々五錢)

配達迅速

平町字四丁目

生そば 十一屋

◎出前持至急入用 十六才より
女中至急入用 廿三才位まで
電話三三三番

夜間
病性 腸胃
花柳病科 性病科 泌尿器病科 皮膚科 肛門病科
胃腸病科 内科
門專
院醫科性病胃腸村松
(番七〇一電町南町平)

舊正初賣ノ景品御準備

本年ハ漆器ノ他ニ小雜貨類モ取揃ヘ御便宜
ヲ計リ極力勉強奉仕致シマス故是非本年モ
御愛顧ノ程ヲ御願ヒ致シマス。
必ズ格好ナ品ガ有リマスカラ御照會下サイ。

共榮漆器店
平町三丁目北裏通

各産漆器
記念表彰品
恩賜賞品
進物贈答品
景品商品類
(小店員、外交員、至急募集)

産科 婦人科
午前宅診
午後往診
平町字仲田町

井坂醫院
電話五五九番

開店披露 伊藤傘店
名入御注文ニ應ジマス
小判印雨傘製造販賣
平町向鎌田(電話六九〇番)

三百年の歴史を有する
家傳靈藥 消食散
馬相ハンサキ 一名かんの薬

代理店 丸龜商店
平町大町 電話一三三番

石炭 コークス 豆炭
氷室 水野石炭商店
平郵便局通り 電話二九九番

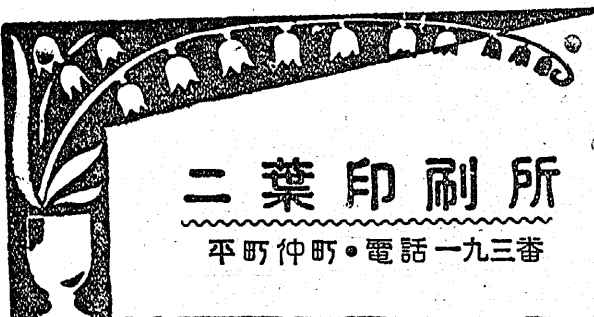
二月三日 (舊十二月廿日)

節分 豆まき

一、縣社子銀倉神社頭に於て
二、午後一時より修祓家内安全
祈禱
一、同二時より豆まき執行
二、會費二十錢
(御祈禱札と福豆呈上)

石城福わ内會
當日午後二時花火台圖に豆ま
き執行、大金豆御拾ひの方に
は福袋進呈、小豆金豆は魔よ
けとなる。

二葉屋洋家具製作店
平町一丁目川岸通
電話三八八番



二葉印刷所
平町仲町・電話一九三番

御會葬御禮

田子健吉
外親戚一同

夫梅吉儀永々病氣の處養生相不
叶本日午前七時四十分死去致候間
御通知申上候
追て葬送の儀は來る二月二日午後零時自宅出棺明
賢寺に於て佛式に依り相營み申候
昭和九年一月三十一日

田中マキ
外親戚一同

かきなべ 御一人前 二十五錢
同 酢の物 十五錢
同 フライ 二十錢
同 百匁 二十五錢

魚清食堂部
平警察署通り
電話六三三番

十全の……豆炭

▲十全の豆炭は理想的家庭燃料で代價は木炭の三分の一
火持のよい事木炭の五倍です
▲二十個の豆炭をコンロに入れ消し炭とまてて火を起し二
升の飯を煮き上げて煮物、焼物、吸物をこしらへお茶を
沸かし
▲あとの火を三個の火鉢にとりわけて一夜を暖かく家庭の
團圓に送り
▲残り火をお炬燵に分配して明日のお晝過ぎまで夜具をあ
たためます

豆炭販賣の元祖 菅野屋商店
平町四丁目 電話一五七番